

2024年

カジノIR
開業

ちよと待った

2025年

大阪万博
開催

期待する人も、反対の人も、べつに興味がない人も…

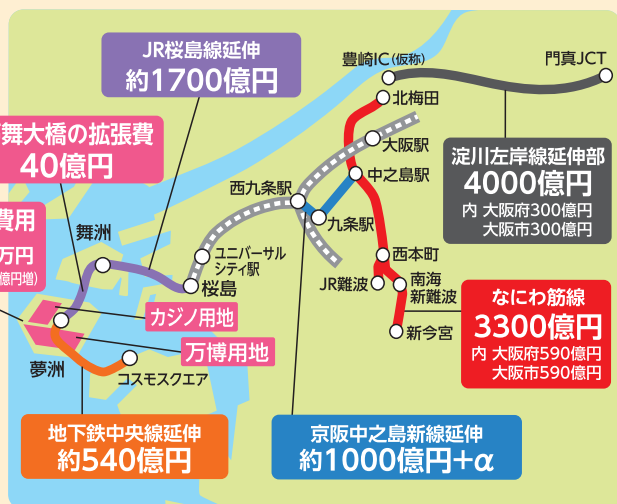
冷静に考えてみよう!

カジノよりくらしと福祉に

どれだけ
たくさん
のお金を
使うの?



急速埋め立て費用
136億1,400万円
(資材や人件費の高騰で36億円増)



ご存知ですか?

BIE(博覧会国際事務局)が
大阪万博を決めたけど…

実は大阪万博もカジノも何も決定ではなく、これから始まり。それなのに維新は万博開催前年にカジノを開業しようとしています。しかも、万博会場のとなりなんです。何か怪しいな～。

カジノ万博スケジュール

- 2018 カジノIR実施法成立
大阪万博の開催決定
- 2020 BIEに開催計画書提出
- 2021 IR事業者・カジノ免許申請
- 2024 カジノIR開業
- 2025 大阪万博開催(5月～11月)

災害に弱い大阪、 防災対策の強化を

南海トラフ大地震・津波、巨大台風や集中豪雨など、いつ甚大な災害が起こっても不思議ではありません。いま府民生活が苦しい時だからこそ、くらしや福祉・防災対策を最優先する大阪府政になってほしいな～。

識者からも 批判の声が…

荻原博子さん 経済ジャーナリスト

大阪は万博とIRの共倒れになるだろう!そんな恐れを抱くのは私1人ではない。「夢よ、もう一度」と願うのはわかるけど時代は変わっている。

「女性自身」12月14日記事

森永卓郎さん 経済アナリスト

大阪は経済が低迷しており、万博決定で喜んでいるけど、そう上手くはいかない。カジノができると大阪は破産者だらけになってしまう。

ニッポン放送「垣花正 あなたとハッピー!」出演コメント

「住民投票」ありきの密約政治

松井知事さん 「密約」の被害者は市民ですよ!

昨年末、松井知事が「約束を守ってくれない」と被害者のごとく公明党との「密約」を暴露。「密約」の内容は2015年に決着済みの大阪市を廃止する「住民投票」を再び行うとし、しかも「どちらにも反対」という市民の多数意見を排除し「特別区」か「総合区」の二者択一だということです。

こんなひどい「密約」の真の被害者は何も知らされていなかった大阪市民です。

住民不在の維新政治 辞任・選挙に道理なし!

松井知事や吉村大阪市長は、統一地方選挙に合わせて知事・市長を辞任して、出直し・ダブル選挙をすると道理もなく息巻いています。これにはマスコミも「住民不在はあらわ」(「朝日新聞」12月29日付)、「知事や市長の地位を駆け引きの道具に使う、揺さぶりをかけるような政治手法は認められない」(「毎日新聞」12月27日付)と批判しています。

